

◎生産履歴を正しく記帳して消費者に安心を届けよう。

◎土づくり、排水対策を十分に行いましょう。

◎農薬の使用については使用基準を厳守し、飛散防止に努めましょう。◎抵抗性回避のため、同一コード(同一系統)の農薬の連用は避けましょう。

重点事項		1. 緑肥や良質な堆肥を施用し、有機含量の多い土づくりをめざす。 2. 稲刈り後、石灰窒素を施し、稲わらの腐熟を促進させる。 3. 排水対策を万全に行い、根の伸長促進と根腐れを防止する。 4. 労力、面積に応じ、段播きを励行し、連続して安定した収穫・出荷を図る。 5. 過度な早まきは苗立枯れ病等生育障害が発生しやすいので注意する。 6. トンネル内の温湿度管理を適切に行う。 7. 丁寧な土寄せを行い、青首防止に努める。 8. 播種期別の適正な栽培密度と適期収穫によりM・L級を中心に収穫する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		10月	11	12	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土づくり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
品 種		<p>彩 誉 FSC-015 恋むすめ 愛 紅 Hにんじん 紅ひなた</p> <p>肥大性に優れ、尻づまり良好で、根色、つや、根形の揃いなど外観品質に優れる。「彩誉」の兄弟品種で肥大性に優れ、根色、尻づまり、揃いが良い。「彩誉」と比較して、根長はやや長い。晩抽性で葉がコンパクト。良く揃い、尻づまり良好。低温着色性に優れ根色が濃い。黒ずみになりにくい。11月15日以降の播種。収量性に優れ、肥大性、尻づまりも良い。根色、つやも優れている。11月20日以降の播種。収量性に優れ、揃いが良い。12月10日以降の播種。収量性に優れ、尻づまりが非常に良い。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施肥(10a)		<p>土壤診断を行い、適正な土壤改良資材の施用と施肥管理に努める。</p> <table border="1"> <tr> <th>例 A</th> <th>例 B</th> <th>例 C</th> </tr> <tr> <td>苦土石灰 100kg リンスター 60kg FTE入り洋人参ベレット 220kg</td> <td>苦土石灰またはみつパワー 100kg BMようりん 60kg IB燐加安604号 100kg</td> <td>苦土石灰 100kg BMリンスターまたはBMようりん 60kg 有機特A805 180kg</td> </tr> </table> <p>微量要素欠乏の畑には、FTE 4kg(2袋)を基肥と併用する。</p>												例 A	例 B	例 C	苦土石灰 100kg リンスター 60kg FTE入り洋人参ベレット 220kg	苦土石灰またはみつパワー 100kg BMようりん 60kg IB燐加安604号 100kg	苦土石灰 100kg BMリンスターまたはBMようりん 60kg 有機特A805 180kg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
例 A	例 B	例 C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
苦土石灰 100kg リンスター 60kg FTE入り洋人参ベレット 220kg	苦土石灰またはみつパワー 100kg BMようりん 60kg IB燐加安604号 100kg	苦土石灰 100kg BMリンスターまたはBMようりん 60kg 有機特A805 180kg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
合計成分量(kg)		<table border="1"> <tr> <th>N</th><th>P<sub>2</sub>O<sub>5</sub></th><th>K<sub>2</sub>O</th> <th>N</th><th>P<sub>2</sub>O<sub>5</sub></th><th>K<sub>2</sub>O</th> <th>N</th><th>P<sub>2</sub>O<sub>5</sub></th><th>K<sub>2</sub>O</th> </tr> <tr> <td>17.6</td><td>35.6</td><td>22</td> <td>16</td><td>22</td><td>14</td> <td>18</td><td>22.8~28.8</td><td>12.6</td> </tr> </table>												N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	17.6	35.6	22	16	22	14	18	22.8~28.8	12.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
17.6	35.6	22	16	22	14	18	22.8~28.8	12.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
作 業		<table border="1"> <tr> <th>時 期</th> <th>内 容</th> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>前作が終わりしだい速やかに良質堆肥、牛ふんオガ堆肥2,000~4,000kgほどを施用又は、ソルゴー等緑肥を7~8月頃(草丈2m程度)にすき込む。水稲跡の稲わらには石灰窒素40kgを全面に施して、できるだけ早く深耕する(遅くとも、播種30日前までに)。乾いた畑では耕起前に全面灌水する。基肥は、播種10日前までに全面施用する。土壤病害、ネコブセンチュウの出る畑はガスタード微粒剤またはバスマド微粒剤20~30kg/10a(播種又は定植21日前まで/1回)で消毒する。消毒する際は、地温20℃以上で使用し、均一に散布後十分混和しビニール等で被覆する。約20日後にビニール等被覆を除去しガス抜きを行う。</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>排水対策 畦巾 400cm×15条~18条×7~9cm(ミニパイプハウス) 310cm×10条×7~9cm(大型トンネル) (株間を早穫りは粗に、遅穫りは密にする。)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>畦巾・株間</td> </tr> <tr> <td>10月下旬</td> <td>播 種 3月穫り 10月20日~11月初旬 4月穫り 11月上旬~12月初旬 5月穫り 12月上旬~12月下旬</td> </tr> <tr> <td>12月中旬</td> <td>除 草 10a当りロックス100~200g(播種直後/1回)+トレファノサイド乳剤200~300ml(播種直後/1回)、またはゴーゴースン乳剤30 200~400ml(播種後出芽前 雑草発生前/1回)+トレファノサイド乳剤200~300mlを水100ℓで散布する。(ロックスは薬剤を攪拌しながら散布する。)</td> </tr> <tr> <td>12月中旬</td> <td>トンネル被覆</td> </tr> <tr> <td>1月上旬</td> <td>除 草 にんじん生育中にイネ科雑草(3~5葉期)の発生が見られたら10a当りセレクト乳剤50~75mlを水100ℓで散布する(収穫40日前まで/1回)。</td> </tr> <tr> <td>1月上旬</td> <td>温 度 管 理 早播きの場合は年内の高温に注意し、換気が遅れないようにする。被覆内の気温は土寄せまでは30℃以下とし、その後は28℃以上にならないように外気が高温になるにしたがって換気孔を増やす(目安23~25℃)。</td> </tr> <tr> <td>4月中旬</td> <td>病 害 の 耕 種 的 防 除 生育初期の乾燥に注意する。灌水は温暖な日に行う。 本葉5~6枚頃に充分土を寄せ、青首を防ぐ。 斑点細菌病や菌核病は、低温多湿条件下で発病が多くなるので、適期換気と排水対策に努める。 斑点細菌病 ・早播きに多いので、1月中旬から薬剤による予防を行う。 ・2~3月に発生し、黒葉枯病と間違しやすい。 菌核病 ・灌水可能な圃場では、夏期の高温時に10~20日間灌水する。 ・土寄せまでに、薬剤による防除を行う。</td> </tr> <tr> <td>3月中旬~5月下旬</td> <td>收 穫 M・L中心に適期収穫して裂根を防ぐ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">病 害 虫 防 除</td> <td colspan="12"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病害虫</th> <th>農薬名</th> <th>コード</th> <th>IRAC</th> <th>対象病害虫</th> <th>希釈倍数・使用量</th> <th>使用液量(10a)</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> <th>使用方法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネキリムシ類</td> <td>ダイアジノン粒剤5</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>ネキリムシ</td> <td>6kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> <td rowspan="10">           ・ダイアジノンを含む剤(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン粒剤10)の総使用回数は2回以内(播種前及び播種時は合計1回以内、生育期は1回以内)。            ・ダイアジノン粒剤10は果ては使用基準(1回)を定めているので、以下のような使い方を参考にして防除を行って下さい。            例1 播種前 ダイアジノン粒剤5 生育期 ダイアジノン粒剤10 例2 播種時 フェオース粒剤 生育期 ダイアジノン粒剤10            ※アファーム乳剤、アクセルフロアブルはハスモンヨトウでの登録            ・マラソン乳剤については、ヤサイゾウムシにも適用あり。            ・イミノクタジンを含む剤(ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)の総使用回数は5回以内。            ◎: にんじん登録            ○: 野菜類登録         </td> </tr> <tr> <td>トウムシ</td> <td>フェオース粒剤</td> <td>3A</td> <td>①</td> <td>トウムシ</td> <td>4~12kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>アブラムシ類</td> <td>ダイアジノン粒剤10</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>アブラムシ</td> <td>4kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>ホモノハダニ</td> <td>マラソン乳剤</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>ホモノハダニ</td> <td>3kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>ヒョウタンクムシ類</td> <td>スタークル顆粒水和剤</td> <td>4A</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>4回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アドマイヤー顆粒水和剤</td> <td>6</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>10,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アファーム乳剤</td> <td>6</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コチツフロアブル</td> <td>13</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェニクス顆粒水和剤</td> <td>28</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000~4,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アクセルフロアブル</td> <td>22B</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫3日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>根腐病</td> <td>ユニフォーム粒剤</td> <td>4・11</td> <td>①</td> <td>根腐病</td> <td>6~18kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>しみ腐病</td> <td>リブレックス粉剤</td> <td>14</td> <td>①</td> <td>しみ腐病</td> <td>9~18kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>黒葉枯病</td> <td>スミレックス水和剤</td> <td>2</td> <td>①</td> <td>黒葉枯病</td> <td>1,500倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫30日前まで</td> <td>1回</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>菌核病</td> <td>アミスターオプティフロアブル</td> <td>11・M5</td> <td>①</td> <td>菌核病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~400ℓ</td> <td>収穫21日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>斑点細菌病</td> <td>カスミンポルター</td> <td>24・M1</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベルコート水和剤</td> <td>M7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>500~1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>5回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベルコートフロアブル</td> <td>M7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>5回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロプラール水和剤</td> <td>2</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000~1,500倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>4回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アファーム乳剤</td> <td>7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スターナ水和剤</td> <td>31</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>セイビエフロアブル20</td> <td>12</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td> <td>11</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>3,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コサイド3000</td> <td>M1</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>500~1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫3日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">換 気</td> <td colspan="12"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">換 気 量</td> <td colspan="12"> <p>(トンネル表面積に対する換気孔面積率)</p> <table border="1"> <tr> <th>穴サイズ</th> <th>穴1つあたり</th> <th>例 ミニパイプハウス(10cmの穴で0.5%程度)</th> </tr> <tr> <td>大型トンネル</td> <td>8cm 0.25%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間口2.5m</td> <td>10cm 0.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱間隔0.5m</td> <td>12cm 0.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミニパイプハウス</td> <td>8cm 0.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間口3.2m</td> <td>10cm 0.15%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱間隔1m</td> <td>12cm 0.25%</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">IRACコード</td> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <td>1B</td><td>有機リン系</td><td>3A</td><td>ピレスロイド系、ピレトリン系</td><td>4A</td><td>ネオニコチノイド系</td><td>6</td><td>アベルメグチン系、ミルベマイシン系</td><td>13</td><td>クロルフェナピル、DNOC、スルフルラミド</td> </tr> <tr> <td>22B</td><td>セミカルバゾン</td><td>28</td><td>ジアミド系</td><td>7</td><td>SDH1</td><td>11</td><td>QoI殺菌剤</td><td>12</td><td>PP殺菌剤</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>ジカルボキシミド類</td><td>4</td><td>PA殺菌剤</td><td>高</td><td>7</td><td>SDH1</td><td>中~高</td><td>11</td><td>QoI殺菌剤</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>AH殺菌剤</td><td>24</td><td>ヘキシラノシル抗生物質</td><td>中</td><td>M1</td><td>無機化合物</td><td>低</td><td>M5</td><td>クロロニトリル</td> </tr> <tr> <td>31</td><td>カルボン酸</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td><td>M7</td><td>ゲアニジン類</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">FRACコード(抵抗性リスク)</td> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <td>2</td><td>低</td><td>4</td><td>中</td><td>11</td><td>高</td><td>12</td><td>高</td><td>13</td><td>高</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>低~中</td><td>24</td><td>中</td><td>M1</td><td>中</td><td>M5</td><td>低</td><td>M7</td><td>低</td> </tr> <tr> <td>31</td><td>中~高</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">防除等の情報</td> <td colspan="12"> <p>病害虫の発生状況、発生予報、防除方法等をお知らせしています。    ◆徳島県病害虫防除所ホームページアドレス <a href="https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftscc/t-boujoshou/">https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftscc/t-boujoshou/</a></p> </td> </tr> </table>												時 期	内 容	9月	前作が終わりしだい速やかに良質堆肥、牛ふんオガ堆肥2,000~4,000kgほどを施用又は、ソルゴー等緑肥を7~8月頃(草丈2m程度)にすき込む。水稲跡の稲わらには石灰窒素40kgを全面に施して、できるだけ早く深耕する(遅くとも、播種30日前までに)。乾いた畑では耕起前に全面灌水する。基肥は、播種10日前までに全面施用する。土壤病害、ネコブセンチュウの出る畑はガスタード微粒剤またはバスマド微粒剤20~30kg/10a(播種又は定植21日前まで/1回)で消毒する。消毒する際は、地温20℃以上で使用し、均一に散布後十分混和しビニール等で被覆する。約20日後にビニール等被覆を除去しガス抜きを行う。	11月	排水対策 畦巾 400cm×15条~18条×7~9cm(ミニパイプハウス) 310cm×10条×7~9cm(大型トンネル) (株間を早穫りは粗に、遅穫りは密にする。)	11月	畦巾・株間	10月下旬	播 種 3月穫り 10月20日~11月初旬 4月穫り 11月上旬~12月初旬 5月穫り 12月上旬~12月下旬	12月中旬	除 草 10a当りロックス100~200g(播種直後/1回)+トレファノサイド乳剤200~300ml(播種直後/1回)、またはゴーゴースン乳剤30 200~400ml(播種後出芽前 雑草発生前/1回)+トレファノサイド乳剤200~300mlを水100ℓで散布する。(ロックスは薬剤を攪拌しながら散布する。)	12月中旬	トンネル被覆	1月上旬	除 草 にんじん生育中にイネ科雑草(3~5葉期)の発生が見られたら10a当りセレクト乳剤50~75mlを水100ℓで散布する(収穫40日前まで/1回)。	1月上旬	温 度 管 理 早播きの場合は年内の高温に注意し、換気が遅れないようにする。被覆内の気温は土寄せまでは30℃以下とし、その後は28℃以上にならないように外気が高温になるにしたがって換気孔を増やす(目安23~25℃)。	4月中旬	病 害 の 耕 種 的 防 除 生育初期の乾燥に注意する。灌水は温暖な日に行う。 本葉5~6枚頃に充分土を寄せ、青首を防ぐ。 斑点細菌病や菌核病は、低温多湿条件下で発病が多くなるので、適期換気と排水対策に努める。 斑点細菌病 ・早播きに多いので、1月中旬から薬剤による予防を行う。 ・2~3月に発生し、黒葉枯病と間違しやすい。 菌核病 ・灌水可能な圃場では、夏期の高温時に10~20日間灌水する。 ・土寄せまでに、薬剤による防除を行う。	3月中旬~5月下旬	收 穫 M・L中心に適期収穫して裂根を防ぐ。	病 害 虫 防 除		<table border="1"> <thead> <tr> <th>病害虫</th> <th>農薬名</th> <th>コード</th> <th>IRAC</th> <th>対象病害虫</th> <th>希釈倍数・使用量</th> <th>使用液量(10a)</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> <th>使用方法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネキリムシ類</td> <td>ダイアジノン粒剤5</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>ネキリムシ</td> <td>6kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> <td rowspan="10">           ・ダイアジノンを含む剤(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン粒剤10)の総使用回数は2回以内(播種前及び播種時は合計1回以内、生育期は1回以内)。            ・ダイアジノン粒剤10は果ては使用基準(1回)を定めているので、以下のような使い方を参考にして防除を行って下さい。            例1 播種前 ダイアジノン粒剤5 生育期 ダイアジノン粒剤10 例2 播種時 フェオース粒剤 生育期 ダイアジノン粒剤10            ※アファーム乳剤、アクセルフロアブルはハスモンヨトウでの登録            ・マラソン乳剤については、ヤサイゾウムシにも適用あり。            ・イミノクタジンを含む剤(ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)の総使用回数は5回以内。            ◎: にんじん登録            ○: 野菜類登録         </td> </tr> <tr> <td>トウムシ</td> <td>フェオース粒剤</td> <td>3A</td> <td>①</td> <td>トウムシ</td> <td>4~12kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>アブラムシ類</td> <td>ダイアジノン粒剤10</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>アブラムシ</td> <td>4kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>ホモノハダニ</td> <td>マラソン乳剤</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>ホモノハダニ</td> <td>3kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>ヒョウタンクムシ類</td> <td>スタークル顆粒水和剤</td> <td>4A</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>4回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アドマイヤー顆粒水和剤</td> <td>6</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>10,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アファーム乳剤</td> <td>6</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コチツフロアブル</td> <td>13</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェニクス顆粒水和剤</td> <td>28</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000~4,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アクセルフロアブル</td> <td>22B</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫3日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>根腐病</td> <td>ユニフォーム粒剤</td> <td>4・11</td> <td>①</td> <td>根腐病</td> <td>6~18kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>しみ腐病</td> <td>リブレックス粉剤</td> <td>14</td> <td>①</td> <td>しみ腐病</td> <td>9~18kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>黒葉枯病</td> <td>スミレックス水和剤</td> <td>2</td> <td>①</td> <td>黒葉枯病</td> <td>1,500倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫30日前まで</td> <td>1回</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>菌核病</td> <td>アミスターオプティフロアブル</td> <td>11・M5</td> <td>①</td> <td>菌核病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~400ℓ</td> <td>収穫21日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>斑点細菌病</td> <td>カスミンポルター</td> <td>24・M1</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベルコート水和剤</td> <td>M7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>500~1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>5回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベルコートフロアブル</td> <td>M7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>5回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロプラール水和剤</td> <td>2</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000~1,500倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>4回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アファーム乳剤</td> <td>7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スターナ水和剤</td> <td>31</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>セイビエフロアブル20</td> <td>12</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td> <td>11</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>3,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コサイド3000</td> <td>M1</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>500~1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫3日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> </tbody> </table>												病害虫	農薬名	コード	IRAC	対象病害虫	希釈倍数・使用量	使用液量(10a)	使用時期	使用回数	使用方法	備 考	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	1B	①	ネキリムシ	6kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	・ダイアジノンを含む剤(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン粒剤10)の総使用回数は2回以内(播種前及び播種時は合計1回以内、生育期は1回以内)。 ・ダイアジノン粒剤10は果ては使用基準(1回)を定めているので、以下のような使い方を参考にして防除を行って下さい。 例1 播種前 ダイアジノン粒剤5 生育期 ダイアジノン粒剤10 例2 播種時 フェオース粒剤 生育期 ダイアジノン粒剤10 ※アファーム乳剤、アクセルフロアブルはハスモンヨトウでの登録 ・マラソン乳剤については、ヤサイゾウムシにも適用あり。 ・イミノクタジンを含む剤(ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)の総使用回数は5回以内。 ◎: にんじん登録 ○: 野菜類登録	トウムシ	フェオース粒剤	3A	①	トウムシ	4~12kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	アブラムシ類	ダイアジノン粒剤10	1B	①	アブラムシ	4kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	ホモノハダニ	マラソン乳剤	1B	①	ホモノハダニ	3kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	ヒョウタンクムシ類	スタークル顆粒水和剤	4A	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	4回以内	散 布		アドマイヤー顆粒水和剤	6	①	ヒョウタンクムシ	10,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布		アファーム乳剤	6	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		コチツフロアブル	13	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布		フェニクス顆粒水和剤	28	①	ヒョウタンクムシ	2,000~4,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布		アクセルフロアブル	22B	①	ヒョウタンクムシ	1,000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散 布	根腐病	ユニフォーム粒剤	4・11	①	根腐病	6~18kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	しみ腐病	リブレックス粉剤	14	①	しみ腐病	9~18kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	黒葉枯病	スミレックス水和剤	2	①	黒葉枯病	1,500倍	100~300ℓ	収穫30日前まで	1回	散 布	菌核病	アミスターオプティフロアブル	11・M5	①	菌核病	1,000倍	100~400ℓ	収穫21日前まで	2回以内	散 布	斑点細菌病	カスミンポルター	24・M1	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散 布		ベルコート水和剤	M7	①	斑点細菌病	500~1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	5回以内	散 布		ベルコートフロアブル	M7	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	5回以内	散 布		ロプラール水和剤	2	①	斑点細菌病	1,000~1,500倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	4回以内	散 布		アファーム乳剤	7	①	斑点細菌病	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		スターナ水和剤	31	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		セイビエフロアブル20	12	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		ファンタジスタ顆粒水和剤	11	①	斑点細菌病	3,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		コサイド3000	M1	①	斑点細菌病	500~1,000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散 布	換 気														換 気 量		<p>(トンネル表面積に対する換気孔面積率)</p> <table border="1"> <tr> <th>穴サイズ</th> <th>穴1つあたり</th> <th>例 ミニパイプハウス(10cmの穴で0.5%程度)</th> </tr> <tr> <td>大型トンネル</td> <td>8cm 0.25%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間口2.5m</td> <td>10cm 0.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱間隔0.5m</td> <td>12cm 0.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミニパイプハウス</td> <td>8cm 0.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間口3.2m</td> <td>10cm 0.15%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱間隔1m</td> <td>12cm 0.25%</td> <td></td> </tr> </table>												穴サイズ	穴1つあたり	例 ミニパイプハウス(10cmの穴で0.5%程度)	大型トンネル	8cm 0.25%		間口2.5m	10cm 0.4%		支柱間隔0.5m	12cm 0.6%		ミニパイプハウス	8cm 0.1%		間口3.2m	10cm 0.15%		支柱間隔1m	12cm 0.25%		IRACコード		<table border="1"> <tr> <td>1B</td><td>有機リン系</td><td>3A</td><td>ピレスロイド系、ピレトリン系</td><td>4A</td><td>ネオニコチノイド系</td><td>6</td><td>アベルメグチン系、ミルベマイシン系</td><td>13</td><td>クロルフェナピル、DNOC、スルフルラミド</td> </tr> <tr> <td>22B</td><td>セミカルバゾン</td><td>28</td><td>ジアミド系</td><td>7</td><td>SDH1</td><td>11</td><td>QoI殺菌剤</td><td>12</td><td>PP殺菌剤</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>ジカルボキシミド類</td><td>4</td><td>PA殺菌剤</td><td>高</td><td>7</td><td>SDH1</td><td>中~高</td><td>11</td><td>QoI殺菌剤</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>AH殺菌剤</td><td>24</td><td>ヘキシラノシル抗生物質</td><td>中</td><td>M1</td><td>無機化合物</td><td>低</td><td>M5</td><td>クロロニトリル</td> </tr> <tr> <td>31</td><td>カルボン酸</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td><td>M7</td><td>ゲアニジン類</td> </tr> </table>												1B	有機リン系	3A	ピレスロイド系、ピレトリン系	4A	ネオニコチノイド系	6	アベルメグチン系、ミルベマイシン系	13	クロルフェナピル、DNOC、スルフルラミド	22B	セミカルバゾン	28	ジアミド系	7	SDH1	11	QoI殺菌剤	12	PP殺菌剤	2	ジカルボキシミド類	4	PA殺菌剤	高	7	SDH1	中~高	11	QoI殺菌剤	14	AH殺菌剤	24	ヘキシラノシル抗生物質	中	M1	無機化合物	低	M5	クロロニトリル	31	カルボン酸							低	M7	ゲアニジン類	FRACコード(抵抗性リスク)		<table border="1"> <tr> <td>2</td><td>低</td><td>4</td><td>中</td><td>11</td><td>高</td><td>12</td><td>高</td><td>13</td><td>高</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>低~中</td><td>24</td><td>中</td><td>M1</td><td>中</td><td>M5</td><td>低</td><td>M7</td><td>低</td> </tr> <tr> <td>31</td><td>中~高</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>												2	低	4	中	11	高	12	高	13	高	14	低~中	24	中	M1	中	M5	低	M7	低	31	中~高									防除等の情報		<p>病害虫の発生状況、発生予報、防除方法等をお知らせしています。    ◆徳島県病害虫防除所ホームページアドレス <a href="https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftscc/t-boujoshou/">https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftscc/t-boujoshou/</a></p>											
時 期	内 容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
9月	前作が終わりしだい速やかに良質堆肥、牛ふんオガ堆肥2,000~4,000kgほどを施用又は、ソルゴー等緑肥を7~8月頃(草丈2m程度)にすき込む。水稲跡の稲わらには石灰窒素40kgを全面に施して、できるだけ早く深耕する(遅くとも、播種30日前までに)。乾いた畑では耕起前に全面灌水する。基肥は、播種10日前までに全面施用する。土壤病害、ネコブセンチュウの出る畑はガスタード微粒剤またはバスマド微粒剤20~30kg/10a(播種又は定植21日前まで/1回)で消毒する。消毒する際は、地温20℃以上で使用し、均一に散布後十分混和しビニール等で被覆する。約20日後にビニール等被覆を除去しガス抜きを行う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11月	排水対策 畦巾 400cm×15条~18条×7~9cm(ミニパイプハウス) 310cm×10条×7~9cm(大型トンネル) (株間を早穫りは粗に、遅穫りは密にする。)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11月	畦巾・株間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10月下旬	播 種 3月穫り 10月20日~11月初旬 4月穫り 11月上旬~12月初旬 5月穫り 12月上旬~12月下旬																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
12月中旬	除 草 10a当りロックス100~200g(播種直後/1回)+トレファノサイド乳剤200~300ml(播種直後/1回)、またはゴーゴースン乳剤30 200~400ml(播種後出芽前 雑草発生前/1回)+トレファノサイド乳剤200~300mlを水100ℓで散布する。(ロックスは薬剤を攪拌しながら散布する。)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
12月中旬	トンネル被覆																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1月上旬	除 草 にんじん生育中にイネ科雑草(3~5葉期)の発生が見られたら10a当りセレクト乳剤50~75mlを水100ℓで散布する(収穫40日前まで/1回)。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1月上旬	温 度 管 理 早播きの場合は年内の高温に注意し、換気が遅れないようにする。被覆内の気温は土寄せまでは30℃以下とし、その後は28℃以上にならないように外気が高温になるにしたがって換気孔を増やす(目安23~25℃)。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
4月中旬	病 害 の 耕 種 的 防 除 生育初期の乾燥に注意する。灌水は温暖な日に行う。 本葉5~6枚頃に充分土を寄せ、青首を防ぐ。 斑点細菌病や菌核病は、低温多湿条件下で発病が多くなるので、適期換気と排水対策に努める。 斑点細菌病 ・早播きに多いので、1月中旬から薬剤による予防を行う。 ・2~3月に発生し、黒葉枯病と間違しやすい。 菌核病 ・灌水可能な圃場では、夏期の高温時に10~20日間灌水する。 ・土寄せまでに、薬剤による防除を行う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3月中旬~5月下旬	收 穫 M・L中心に適期収穫して裂根を防ぐ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
病 害 虫 防 除		<table border="1"> <thead> <tr> <th>病害虫</th> <th>農薬名</th> <th>コード</th> <th>IRAC</th> <th>対象病害虫</th> <th>希釈倍数・使用量</th> <th>使用液量(10a)</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> <th>使用方法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネキリムシ類</td> <td>ダイアジノン粒剤5</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>ネキリムシ</td> <td>6kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> <td rowspan="10">           ・ダイアジノンを含む剤(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン粒剤10)の総使用回数は2回以内(播種前及び播種時は合計1回以内、生育期は1回以内)。            ・ダイアジノン粒剤10は果ては使用基準(1回)を定めているので、以下のような使い方を参考にして防除を行って下さい。            例1 播種前 ダイアジノン粒剤5 生育期 ダイアジノン粒剤10 例2 播種時 フェオース粒剤 生育期 ダイアジノン粒剤10            ※アファーム乳剤、アクセルフロアブルはハスモンヨトウでの登録            ・マラソン乳剤については、ヤサイゾウムシにも適用あり。            ・イミノクタジンを含む剤(ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)の総使用回数は5回以内。            ◎: にんじん登録            ○: 野菜類登録         </td> </tr> <tr> <td>トウムシ</td> <td>フェオース粒剤</td> <td>3A</td> <td>①</td> <td>トウムシ</td> <td>4~12kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>アブラムシ類</td> <td>ダイアジノン粒剤10</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>アブラムシ</td> <td>4kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>ホモノハダニ</td> <td>マラソン乳剤</td> <td>1B</td> <td>①</td> <td>ホモノハダニ</td> <td>3kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>ヒョウタンクムシ類</td> <td>スタークル顆粒水和剤</td> <td>4A</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>4回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アドマイヤー顆粒水和剤</td> <td>6</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>10,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アファーム乳剤</td> <td>6</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コチツフロアブル</td> <td>13</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェニクス顆粒水和剤</td> <td>28</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>2,000~4,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アクセルフロアブル</td> <td>22B</td> <td>①</td> <td>ヒョウタンクムシ</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫3日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>根腐病</td> <td>ユニフォーム粒剤</td> <td>4・11</td> <td>①</td> <td>根腐病</td> <td>6~18kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>しみ腐病</td> <td>リブレックス粉剤</td> <td>14</td> <td>①</td> <td>しみ腐病</td> <td>9~18kg/10a</td> <td>100~300ℓ</td> <td>播種前</td> <td>1回</td> <td>全面土壌混和</td> </tr> <tr> <td>黒葉枯病</td> <td>スミレックス水和剤</td> <td>2</td> <td>①</td> <td>黒葉枯病</td> <td>1,500倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫30日前まで</td> <td>1回</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>菌核病</td> <td>アミスターオプティフロアブル</td> <td>11・M5</td> <td>①</td> <td>菌核病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~400ℓ</td> <td>収穫21日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td>斑点細菌病</td> <td>カスミンポルター</td> <td>24・M1</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>2回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベルコート水和剤</td> <td>M7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>500~1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>5回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベルコートフロアブル</td> <td>M7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>5回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロプラール水和剤</td> <td>2</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000~1,500倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>4回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アファーム乳剤</td> <td>7</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>2,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スターナ水和剤</td> <td>31</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>セイビエフロアブル20</td> <td>12</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td> <td>11</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>3,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コサイド3000</td> <td>M1</td> <td>①</td> <td>斑点細菌病</td> <td>500~1,000倍</td> <td>100~300ℓ</td> <td>収穫3日前まで</td> <td>3回以内</td> <td>散 布</td> </tr> </tbody> </table>												病害虫	農薬名	コード	IRAC	対象病害虫	希釈倍数・使用量	使用液量(10a)	使用時期	使用回数	使用方法	備 考	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	1B	①	ネキリムシ	6kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	・ダイアジノンを含む剤(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン粒剤10)の総使用回数は2回以内(播種前及び播種時は合計1回以内、生育期は1回以内)。 ・ダイアジノン粒剤10は果ては使用基準(1回)を定めているので、以下のような使い方を参考にして防除を行って下さい。 例1 播種前 ダイアジノン粒剤5 生育期 ダイアジノン粒剤10 例2 播種時 フェオース粒剤 生育期 ダイアジノン粒剤10 ※アファーム乳剤、アクセルフロアブルはハスモンヨトウでの登録 ・マラソン乳剤については、ヤサイゾウムシにも適用あり。 ・イミノクタジンを含む剤(ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)の総使用回数は5回以内。 ◎: にんじん登録 ○: 野菜類登録	トウムシ	フェオース粒剤	3A	①	トウムシ	4~12kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	アブラムシ類	ダイアジノン粒剤10	1B	①	アブラムシ	4kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	ホモノハダニ	マラソン乳剤	1B	①	ホモノハダニ	3kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	ヒョウタンクムシ類	スタークル顆粒水和剤	4A	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	4回以内	散 布		アドマイヤー顆粒水和剤	6	①	ヒョウタンクムシ	10,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布		アファーム乳剤	6	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		コチツフロアブル	13	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布		フェニクス顆粒水和剤	28	①	ヒョウタンクムシ	2,000~4,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布		アクセルフロアブル	22B	①	ヒョウタンクムシ	1,000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散 布	根腐病	ユニフォーム粒剤	4・11	①	根腐病	6~18kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	しみ腐病	リブレックス粉剤	14	①	しみ腐病	9~18kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	黒葉枯病	スミレックス水和剤	2	①	黒葉枯病	1,500倍	100~300ℓ	収穫30日前まで	1回	散 布	菌核病	アミスターオプティフロアブル	11・M5	①	菌核病	1,000倍	100~400ℓ	収穫21日前まで	2回以内	散 布	斑点細菌病	カスミンポルター	24・M1	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散 布		ベルコート水和剤	M7	①	斑点細菌病	500~1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	5回以内	散 布		ベルコートフロアブル	M7	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	5回以内	散 布		ロプラール水和剤	2	①	斑点細菌病	1,000~1,500倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	4回以内	散 布		アファーム乳剤	7	①	斑点細菌病	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		スターナ水和剤	31	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		セイビエフロアブル20	12	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		ファンタジスタ顆粒水和剤	11	①	斑点細菌病	3,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布		コサイド3000	M1	①	斑点細菌病	500~1,000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																
病害虫	農薬名	コード	IRAC	対象病害虫	希釈倍数・使用量	使用液量(10a)	使用時期	使用回数	使用方法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	1B	①	ネキリムシ	6kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和	・ダイアジノンを含む剤(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン粒剤10)の総使用回数は2回以内(播種前及び播種時は合計1回以内、生育期は1回以内)。 ・ダイアジノン粒剤10は果ては使用基準(1回)を定めているので、以下のような使い方を参考にして防除を行って下さい。 例1 播種前 ダイアジノン粒剤5 生育期 ダイアジノン粒剤10 例2 播種時 フェオース粒剤 生育期 ダイアジノン粒剤10 ※アファーム乳剤、アクセルフロアブルはハスモンヨトウでの登録 ・マラソン乳剤については、ヤサイゾウムシにも適用あり。 ・イミノクタジンを含む剤(ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)の総使用回数は5回以内。 ◎: にんじん登録 ○: 野菜類登録																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
トウムシ	フェオース粒剤	3A	①	トウムシ	4~12kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
アブラムシ類	ダイアジノン粒剤10	1B	①	アブラムシ	4kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ホモノハダニ	マラソン乳剤	1B	①	ホモノハダニ	3kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ヒョウタンクムシ類	スタークル顆粒水和剤	4A	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	4回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	アドマイヤー顆粒水和剤	6	①	ヒョウタンクムシ	10,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	アファーム乳剤	6	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	コチツフロアブル	13	①	ヒョウタンクムシ	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	フェニクス顆粒水和剤	28	①	ヒョウタンクムシ	2,000~4,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	アクセルフロアブル	22B	①	ヒョウタンクムシ	1,000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
根腐病	ユニフォーム粒剤	4・11	①	根腐病	6~18kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
しみ腐病	リブレックス粉剤	14	①	しみ腐病	9~18kg/10a	100~300ℓ	播種前	1回	全面土壌混和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
黒葉枯病	スミレックス水和剤	2	①	黒葉枯病	1,500倍	100~300ℓ	収穫30日前まで	1回	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
菌核病	アミスターオプティフロアブル	11・M5	①	菌核病	1,000倍	100~400ℓ	収穫21日前まで	2回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
斑点細菌病	カスミンポルター	24・M1	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ベルコート水和剤	M7	①	斑点細菌病	500~1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	5回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ベルコートフロアブル	M7	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	5回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ロプラール水和剤	2	①	斑点細菌病	1,000~1,500倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	4回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	アファーム乳剤	7	①	斑点細菌病	2,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	スターナ水和剤	31	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	セイビエフロアブル20	12	①	斑点細菌病	1,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ファンタジスタ顆粒水和剤	11	①	斑点細菌病	3,000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	コサイド3000	M1	①	斑点細菌病	500~1,000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散 布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
換 気																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
換 気 量		<p>(トンネル表面積に対する換気孔面積率)</p> <table border="1"> <tr> <th>穴サイズ</th> <th>穴1つあたり</th> <th>例 ミニパイプハウス(10cmの穴で0.5%程度)</th> </tr> <tr> <td>大型トンネル</td> <td>8cm 0.25%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間口2.5m</td> <td>10cm 0.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱間隔0.5m</td> <td>12cm 0.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミニパイプハウス</td> <td>8cm 0.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間口3.2m</td> <td>10cm 0.15%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱間隔1m</td> <td>12cm 0.25%</td> <td></td> </tr> </table>												穴サイズ	穴1つあたり	例 ミニパイプハウス(10cmの穴で0.5%程度)	大型トンネル	8cm 0.25%		間口2.5m	10cm 0.4%		支柱間隔0.5m	12cm 0.6%		ミニパイプハウス	8cm 0.1%		間口3.2m	10cm 0.15%		支柱間隔1m	12cm 0.25%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
穴サイズ	穴1つあたり	例 ミニパイプハウス(10cmの穴で0.5%程度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
大型トンネル	8cm 0.25%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
間口2.5m	10cm 0.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
支柱間隔0.5m	12cm 0.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ミニパイプハウス	8cm 0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
間口3.2m	10cm 0.15%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
支柱間隔1m	12cm 0.25%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
IRACコード		<table border="1"> <tr> <td>1B</td><td>有機リン系</td><td>3A</td><td>ピレスロイド系、ピレトリン系</td><td>4A</td><td>ネオニコチノイド系</td><td>6</td><td>アベルメグチン系、ミルベマイシン系</td><td>13</td><td>クロルフェナピル、DNOC、スルフルラミド</td> </tr> <tr> <td>22B</td><td>セミカルバゾン</td><td>28</td><td>ジアミド系</td><td>7</td><td>SDH1</td><td>11</td><td>QoI殺菌剤</td><td>12</td><td>PP殺菌剤</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>ジカルボキシミド類</td><td>4</td><td>PA殺菌剤</td><td>高</td><td>7</td><td>SDH1</td><td>中~高</td><td>11</td><td>QoI殺菌剤</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>AH殺菌剤</td><td>24</td><td>ヘキシラノシル抗生物質</td><td>中</td><td>M1</td><td>無機化合物</td><td>低</td><td>M5</td><td>クロロニトリル</td> </tr> <tr> <td>31</td><td>カルボン酸</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td><td>M7</td><td>ゲアニジン類</td> </tr> </table>												1B	有機リン系	3A	ピレスロイド系、ピレトリン系	4A	ネオニコチノイド系	6	アベルメグチン系、ミルベマイシン系	13	クロルフェナピル、DNOC、スルフルラミド	22B	セミカルバゾン	28	ジアミド系	7	SDH1	11	QoI殺菌剤	12	PP殺菌剤	2	ジカルボキシミド類	4	PA殺菌剤	高	7	SDH1	中~高	11	QoI殺菌剤	14	AH殺菌剤	24	ヘキシラノシル抗生物質	中	M1	無機化合物	低	M5	クロロニトリル	31	カルボン酸							低	M7	ゲアニジン類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1B	有機リン系	3A	ピレスロイド系、ピレトリン系	4A	ネオニコチノイド系	6	アベルメグチン系、ミルベマイシン系	13	クロルフェナピル、DNOC、スルフルラミド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
22B	セミカルバゾン	28	ジアミド系	7	SDH1	11	QoI殺菌剤	12	PP殺菌剤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2	ジカルボキシミド類	4	PA殺菌剤	高	7	SDH1	中~高	11	QoI殺菌剤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
14	AH殺菌剤	24	ヘキシラノシル抗生物質	中	M1	無機化合物	低	M5	クロロニトリル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
31	カルボン酸							低	M7	ゲアニジン類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
FRACコード(抵抗性リスク)		<table border="1"> <tr> <td>2</td><td>低</td><td>4</td><td>中</td><td>11</td><td>高</td><td>12</td><td>高</td><td>13</td><td>高</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>低~中</td><td>24</td><td>中</td><td>M1</td><td>中</td><td>M5</td><td>低</td><td>M7</td><td>低</td> </tr> <tr> <td>31</td><td>中~高</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>												2	低	4	中	11	高	12	高	13	高	14	低~中	24	中	M1	中	M5	低	M7	低	31	中~高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2	低	4	中	11	高	12	高	13	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
14	低~中	24	中	M1	中	M5	低	M7	低																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
31	中~高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
防除等の情報		<p>病害虫の発生状況、発生予報、防除方法等をお知らせしています。    ◆徳島県病害虫防除所ホームページアドレス <a href="https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftscc/t-boujoshou/">https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftscc/t-boujoshou/</a></p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													